



キバナイカリソウ

(2004年5月1日 撮影)

5月初旬から中旬ごろ、あまり日の当たらない川沿いの斜面や林の中で咲いています。本州では主に日本海側で咲きますが、泉ヶ岳でも数は大変少ないのですが咲いています。

茎が高さは30 cmほどになり、その先端に葉をつけ、花は低い位置に咲きます。花の形が船の碇の形に似ていて、花の色が黄色いことからこの名前がつけました。

疲れを取る薬になることから、盗掘されてしまい、数が減っている植物です。もし見かけても、どうかそっと見守ってあげてください。



花がつぼみのころ



花を上から見たところ